

- 1日 ○自販連、7月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数(含む軽)は、34万9,335台で前年比△13.4%と13か月連続の減少
- 米供給管理協会、7月のISM景況指数(製造業)を発表
総合指数は52.8%と前月(53.0%)から低下
- 4日 ○イングランド銀行(BOE)、金融政策委員会を開催・政策金利の引上げ(1.25%→1.75%)
- 米商務省、6月の貿易・サービス収支を発表
貿易・サービス収支(国際収支ベース)は△796億ドルとなり、前月(△849億ドル)から赤字額は減少
- 5日 ○内閣府、6月の景気動向指数(CI)(速報)を発表
先行指数は100.6(前月差△0.6ポイント)で2か月連続の下降、一致指数は99.0(前月差+4.1ポイント)で3か月ぶりの上昇、遅行指数は97.4(前月差+1.7ポイント)で2か月ぶりの上昇、基調判断は「改善を示している」とし据え置き
- 総務省、6月の家計調査(二人以上の世帯)を発表
実質消費支出は前年同月比+3.5%と4か月ぶりの増加、季調済前月比は+1.5%と2か月ぶりの増加
基調判断は「6月の消費支出は、1年前と比べて物価は上昇しているものの、消費支出は実質でも増加となっており、引き続き今後の動向を注視していく。」
- 厚生労働省、6月の毎月勤労統計(速報)を発表
現金給与総額(共通事業所系列)は前年比+1.8%(うち所定内給与は同+1.5%、所定外給与は同+4.3%、特別給与は同+2.0%)となり16か月連続のプラス
- 米労働省、7月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比52.8万人増、過去2か月分は上方修正(6月分は同39.8万人増に上方修正(+2.6万人)、5月分は同38.6万人増に上方修正(+0.2万人))
失業率は3.5%と前月(3.6%)から低下
- 7日 ○中国海関総署、7月の貿易収支を発表
貿易収支は+1,013億ドル、輸出は3,330億ドルで前年比+18.0%、輸入は2,317億ドルで前年比+2.3%
- 8日 ○内閣府、7月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差△9.1ポイントの43.8となり2か月連続の減少。先行き判断DIは前月差△4.8ポイントの42.8となり2か月連続の減少
景気現状の基調判断は「持ち直しに足踏みがみられる。先行きについては、持ち直しへの期待がある一方、価格上昇の影響等に対する懸念がみられる。」と下方修正
- 財務省、6月の国際収支状況(速報)を発表
経常収支は△1,324億円、前年差△8,720億円で5か月ぶりの赤字
- 東京商工リサーチ、7月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は494件(前年比+3.7%)と4か月連続の前年比プラス、負債総額は845億円(同+18.3%)、倒産企業の従業員数は2,577人(同△23.1%)、上場企業倒産は0件
- 9日 ○日本銀行、7月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年比+3.4%、M3は同+3.0%、広義流動性は同+3.8%
- 10日 ○国土交通省、6月の建設工事受注動態統計を発表
公共工事受注額は前年比△6.2%で2か月連続のマイナス
- 日本銀行、7月の企業物価指数(速報)を発表
前年比+8.6%となり、17か月連続のプラス
- 米労働省、7月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比+8.5%、前月比+9.1%、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+5.9%、前月比+5.9%
- 12日 ○英政府統計局、2022年4-6月期のGDP(速報)を発表
実質GDP成長率は前期比△0.1%、年率△0.3%
- 15日 ○内閣府、2022年4-6月期のGDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は、季調済前期比+0.5%(年率換算+2.2%)となり、3四半期連続のプラス成長
名目GDP成長率は、同+0.3%(年率換算+1.1%)となり、3四半期連続のプラス成長
GDPデフレーターは、同△0.3%、前年比は△0.4%
- 東日本建設業保証会社等、6月の公共工事前払金保証統計を発表
公共工事請負金額は前年同月比△7.0%で2か月ぶりのマイナス
- 16日 ○米連邦準備制度理事会(FRB)、7月の鉱工業生産を発表
総合は季調済前月比+0.6%
- 17日 ○内閣府、6月の機械受注統計を発表
民需(除く船舶・電力)は季調済前月比+0.9%
基調判断は「持ち直しの動きがみられる」とし据え置き
- 財務省、7月の貿易統計(速報)を発表
輸出は自動車、鉱物性燃料等が増加し、前年比+19.0%の8兆7,528億円、輸入は原油、石炭等が増加し、同+47.2%の10兆1,896億円、貿易収支は△1兆4,368億円で12か月連続の赤字

日誌

(8 月 中)

<p>○国土交通省, 6月の建設総合統計を発表 公共工事出来高は前年同月比$\Delta 4.1\%$で, 11か月連続のマイナス</p> <p>○米商務省, 7月の小売売上高を発表 総合は前月比$+0.0\%$, 自動車・同部品を除くと前月比$+0.4\%$</p> <p>19日 ○総務省, 7月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年比$+2.4\%$となり, 11か月連続のプラス</p> <p>25日 ○政府, 8月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は, 緩やかに持ち直している。」とし据え置き</p> <p>26日 ○総務省, 7月の労働力調査を発表 完全失業率(季調済前月比)は2.6%で前月(2.6%)と同率 雇用者数(原数値)は6,052万人で前年同月16万人の増加 完全失業者数(同)は176万人で前年同月比17万人の減少</p> <p>31日 ○経済産業省, 7月の商業動態統計を発表 小売業販売額は前年比2.4%で5か月連続の増加, 季調済前月比は$+0.8\%$で2か月ぶりの増加 基調判断は「緩やかに持ち直している小売業販売」とし前月判断を維持</p>	<p>○経済産業省, 7月の鉱工業指数(速報)を発表 生産は季調済前月比$+1.0\%$, 出荷は同1.6%, 在庫は同0.0% 基調判断は「一進一退」とし据え置き</p> <p>○国土交通省, 7月の建築着工統計調査を発表 新設住宅着工総戸数(原数値)は, 72,981戸(前年比$\Delta 5.4\%$)と3か月連続の減少, 季調済年率は82.5万戸(前月比$\Delta 2.3\%$)。</p> <p>○中国国家统计局, 8月の製造業PMI(購買部担当者指数)を発表 製造業PMIは49.4ポイントと2か月連続で50を下回る。</p> <p>東証株価指数(TOPIX)第1部(終値) 月間最高値 2006.99(17日) 〃 最安値 1930.73(4日)</p> <p>日経平均株価(終値) 月間最高値 29222.77円(17日) 〃 最安値 27741.9円(3日)</p> <p>東京外為市場(ドル・円相場, 銀行間直物, 17時時点) 月間最高値 130.83円(2日) 〃 最安値 138.7円(29日)</p>
---	---